



TOMOSHIBI —地震が来たら—

■ サンプラザ中野くん

「TOMOSHIBI」を作った。サンプラザ中野くんだー！

このたびの大震災で被災された皆様にお見舞いを申し上げます。そして亡くなられた皆様のご冥福をお祈りいたします。

ミュージシャンとして歌を作った。それは「TOMOSHIBI —地震が来たら—」である。地震の2日後(13日)に完成した。そしてその2日後(15日)にラジオ&ユーストリームで演奏した。その放送をフュージョンバンド・カシオペアの向谷実氏が視聴していた。そして「録音しよう！」とツイッターで連絡をくれた。3日後の18日の昼から、インターネットライブ放送のユーストリームで生放送しながらプリプロダクション(仮レコーディング)をした。そこでボランティアで参加してくれるミュージシャンをツイッターで募り、同じく無償で使わせてくれるスタジオを募った。川崎市のオアシスというスタジオから連絡をいただき、翌日の夜からのレコーディングが決まった。

で、19日の夜にスタジオに集合。夜を徹してのレコーディングが始まった。この模様もすべてユーストリームで生中継。同時にツイッターで視聴者と意見交換などもしつつ完成したのが翌20日の朝9:30。レコーディングの最中にもジャケットの製作者にメールで連絡をとった。その方はバンクーバーにいた。2時間後には連絡がつき無事OKをもらえた。公開のためのホームページを準備していたスタッフにすぐに知らせた。彼女も不眠不休でページデザインをやり遂げた。完成から1時間後には向谷倶楽部の特設ページからダウンロード可能

■ サンブラザ中野くん
ロック歌手

1960年8月15日生まれ。2年間のアマチュアバンド活動を経て1984年に爆風スランプのヴォーカルとしてデビュー。パワフルで奥深いサウンドにユニークで斬新なパフォーマンスが話題を呼び、若者を中心に圧倒的支持を得る。2008年1月からは「サンブラザ中野くん」と名前をリニューアルし、「歌手」「健康」「株」を中心に、執筆業やランナーなど幅広い活動を行っている。「TOMOSHIBI 一地震が来たらー」は iTunes store 等にて無料配信中。



となったのであった。無料でだ。地震が起きてから9日後。作曲してから1週間後にホームページから世界に向けて配信が可能になったのだ。すごい！早い！

これは無償で配布配信拡散が可能な状態にしてある。チャリティにはしていないのである。その理由は「共有」である。これだけの震災だ。立ち直るのに長い時間がかかるはずだ。そして多くの人々の助けが必要だ。それは日本だけにとどまらないと思う。歌は時代や空気感を共有するツールとしては最良のもの1つだ。街角で懐かしい歌に触れた瞬間にタイムスリップしてしまう体験はだれにでもある。この歌を共有することでこの震災を人々に共有してほしいのだ。国境も越えて。そう願ったところまず中国のスーパースターの1人 Beyond の Wing 氏が快く歌ってくれた。向谷倶楽部のホームページ上のカラオケを北京でダウンロード。そして歌唱。その歌だけのトラックを日本にネットで送る。そのトラックを日本で受けてカラオケとミックスという段取り。そして公開は22日だった。なんというスピード。その後同じ段取りでロスで英語バージョンの録音も行われた。ドン・グルーシンさんプロデュースによりフェルケさんとアシュリーさんの女の子2人のデュエットとなった。これは28日に完成・公開された。まだまだ多言語で公開していく予定だ。共有のために。

これらすべてはITの発達なくしてはありえない作品だ。音楽でお金を得ることが難しくなっている。しかしITで音楽を共有することで生まれ出しているものもある。それをお金に換えるアイデアもそのうち出てくるかと思う。とにかくITは音楽界を変えてきている。

